

Q&A

Q: Q：送りねじの材質を選定する場合の注意点はありますか？

送りねじは、面接触をしていることから、点接触のボールねじに比べて摩耗は早くなります。

そのため、荷重が大きく、摩耗が予想される場合は、焼入れ材（工具鋼、クロムモリブデン鋼、機械構造用鋼など）を使用することをお奨めします。

また、ねじ軸とナットは同一材料を使用しないことも重要です。これは「かじり」と言って、同一材料同士が面接触し摩擦が発生すると凝着のような現象を起こす事例があるからです。

あえて、ナット側に軟質材などを使用している例が多いようです。

送りねじの材質選定も重要なのですね！

